

## 琵琶湖・GX推進対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和5年7月19日（水）

### 2 調査の概要

#### (1) 奥伊吹発電所（米原市甲津原）

奥伊吹発電所は奥伊吹観光（株）と関西電力のグループ会社（株）KANSOテクノスの合同で設置された県内で唯一の小水力発電所であり、令和4年4月より水力発電事業を開始されている。

同発電所では小水力発電により、年間約450世帯分の電気を発電し、年間約620tのCO<sub>2</sub>削減を見込むとともに、また、将来的には自主施設の電力を全て水力の自然エネルギーでの供給を目指すなど、GXの実現に向けた先駆的な取組を行っている。

本委員会では、本県におけるGXの推進についてを重点調査項目の一つとし、CO<sub>2</sub>排出削減と同時に経済成長を実現する様々な取組等について調査することとしており、今後の委員会活動の参考とするため、奥伊吹発電所を訪問し、GXの実現に向けた取組を調査した。



#### (2) 株式会社シガウッド（長浜市辰巳町）

株式会社シガウッドは、2×4工法の住宅用パネルを製造されており、びわ湖材の利用にも積極的に取り組まれている。

また、近年では倉庫や工場用などの大型の部材も製造し、民間非住宅も含めた建築物の木造化によるCO<sub>2</sub>の歳出削減等を推進されている。

本委員会では、本年2月定例会議において、議員提案で制定された「滋賀県産材の利用の促進に関する条例」の趣旨を踏まえ、琵琶湖の保全・再生の視点に立った森林づくりについて調査研究することとしており、今後の委員会活動の参考とするため、同社を訪問し、びわ湖材の利用促進に関する取組について調査を行った。

